



《東京都中学校長会》

令和2年2月13日(木)

2月会長だより

(区市等校長会長連絡会)

会長 酒井 泰

1 挨拶

例年、インフルエンザの罹患防止に注力する時期ですが、今年はこちらに加えて新型コロナウイルスによる肺炎についても細心の注意を払う必要があります、生徒及び教職員の健康維持が重要な課題となっています。学校経営では、いよいよ年度末まで一か月半となり、今年度の学校評価をもとに、教育活動の振り返りと今後の改善の方策について検討を重ね、次年度の教育課程に反映する作業も大詰めを迎えていることと思います。

学校経営を円滑に推進するために必要なことは、校長のリーダーシップとよく言われます。校長が方針を示し、運営に必要な組織を構築し、適切な役割分担によって学校が一体感をもって運営されるためには、全ての場面における校長の適時・適切なリーダーシップが欠かせません。リーダーシップは学校という組織の長として求められる最も重要な能力であることは間違いありません。しかし、一方でこのリーダーシップを支える教職員のフォロワーシップの重要性にも改めて注目する必要があると感じます。教職員が自己申告における職務目標として、主に「学校運営」の欄に記載する内容が、職層や所属学年・分掌に応じて真に校長の学校経営の方針を具現化するための目標となっているのか、そして校長の期待通りに目標の実現のために動いてくれるものとなっているのかを確認する必要があると思います。自己申告の面接では、どうしても個人の能力の育成を図る職務目標について話が集中しがちです。全ての教職員の目標を一覧表にして、「偏りはないか」、「漏れはないか」とじっくりと見渡し、校長の経営方針実現のための目標を必ずいずれかの教員が担う体制になっていることが大切であると思います。そして、教職員一人一人に対して明確な達成目標を示すとともに、その目標達成が学校全体の教育活動の充実に果たす効果について適切に価値付けをすることで、教職員は校長との一体感をもって日々の職務を遂行するようになると思います。

さて、2月2日(日)に「東京都中学校駅伝大会」が行われました。今回は、メイン会場の変更があり、限られた方々のみが入場できることになったため、ご不便を感じた方もいらっしゃったと思いますが、生徒たちは1秒でも早くとの思いを前面に出し、一生懸命チームのために頑張っていました。各地区代表の生徒の選手・補欠に関わりなく、一体となって努力する姿に接し、順位に関わらず、ひたむきに努力することの大切さを改めて学ぶ機会となりました。各地区の体育科の先生方をはじめ、養護教諭の先生方、さらには、運営等に尽力いただいた各学校及び地区教育委員会の方々に御礼申し上げます。

2 当面の課題

(1) 高等学校入学者選抜関係書類の不備の根絶をめざして

進路対策委員会より、都立高等学校入学者推薦選抜出願に向けた願書・調査書・推薦書等の不備を防ぐための資料が配布されています。今後もこうした資料を活用し、学力検査に向けた出願ではミス無くしていきたいと思います。第3学年の先生方にも注意喚起するとと

もに、管理職自らも公印を押す段階で必ずチェックを行い、書類の不備を無くすようご協力をお願いします。

(2) 令和2年度に向けた都校長会組織編成に向けて

1月のはじめから次年度の国会組織の検討に着手しています。国会では、部長・副部長をはじめ委員長についても総会で承認を得ることになっています。令和2年度も引き続き、会員の皆様の国会活動へのご協力をお願いいたします。

3 連絡・報告事項

(1) 全日本中学校長会第3回理事会

1月24日(金)に標記の理事会が開催されました。当日は議事終了後に情報交換会が行われ、「学校と教育委員会の適切なパートナーシップに基づく双方向の関係確立」並びに「社会に開かれた教育課程の視点からの教育課程改善に向けた取組」の二つのテーマで、関東甲信越地区の校長先生方と意見交換を行いました。

(2) 令和2年度都度教育庁の新規事業

1月24日(金)に「令和2年度教育庁所管事業予算案」内示状況説明会があり、山浦会計部長、前田会計部副部長、覚張事務局長に出席していただきました。そこで示された新規事業等の一部を紹介します。

- ・新たな「東京型教育モデル」の実現に向けた指導体制・学び方・考え方などの抜本的な転換を図るための方策の検討
- ・スクールサポートスタッフの配置（小・中学校1,000校→1,500校）
- ・副校長を直接補佐する人材の配置（小・中学校569校）
- ・部活動指導員の活用の推進（中学校588人）
- ・猛暑対策としての屋内体育施設空調施設設置への支援
- ・TGGと同様の特徴を備えた体験型学習環境を多摩地域で整備することを検討

(3) 東京消防少年団連盟発足四十周年記念式典

1月26日(日)に標記の式典が武蔵野の森総合スポーツプラザで開催されました。都内各地区の少年消防団員2,700名、指導者1,100名が参加し、「結索」や「防災」の競技会も行なわれ、日ごろの訓練で身に付けた防火防災に関する知識や技術を披露してくれました。

(4) 第51回関東地区学校事務研究大会(東京大会)

1月30日(木)に標記の研究大会が国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。「子供の豊かな育ちを支援する学校事務」を大会テーマとして、関東地区をはじめ全国の事務職員の方々が集い、全体会及び分科会形式で研究されました。

(5) 高度IT社会の工業高校に関する有識者会議(第2回)

2月3日(月)に標記の会議が開かれました。「これからの社会で求められる人材を育成するために必要な教育」について協議しました。年度内に第3回目の会議が開催される予定となっています。

(6) 一般財団法人東京学校支援機構

2月3日(月)に一般財団法人東京学校支援機構の理事会が開催されました。東京都教育委員会が都内公立学校を多角的に支援するために設立した一般財団法人で、令和2年度から各学校で様々な外部人材が活動できるよう人材登録を開始しています。